



集落全戸による電気柵管理とわな猟技術の向上

～総合的なイノシシ対策の取組～

イノシシ被害が多い集落において、環境調査を行い、侵入経路となっていた川沿いを環境整備するとともに電気柵を設置したことにより、被害は大幅に減少した。

電気柵の管理は集落全戸の当番制で毎月点検管理しており、またわな猟免許を16名が取得して捕獲対策にも取り組んでいる。

市町村	下仁田町		
地区	馬山堀之内		
集落戸数	23戸	農家戸数	20戸
農地面積	500 a		
主な作目	コンニャク、ネギ、イモ類		
加害獣種	イノシシ		

背景

当地区ではネギ、コンニャク、直売用野菜の生産が多いが、イノシシが出没するようになり被害が増加していた。

当地区は鑓川に沿って農地があり、川沿いからイノシシが侵入して広域的に被害を及ぼしていたことから集落ぐるみによる対策が必要となっていた。

事業内容

【主な取組】

- ◆ センサーカメラによる出没調査の実施
- ◆ 侵入防止柵の設置及び効果検証
- ◆ 侵入防止柵の共同管理
- ◆ わな設置研修会による捕獲技術の向上

【取組経過】

H23年	8月	生息出没調査
	10月	環境整備（草刈り）
	10月	電気柵設置研修会
	10～3月	センサーカメラ設置
	11月	わな設置研修会
H24年	1月	対策効果検証（聞き取り調査）



まずは役員で集落環境調査



皆で環境整備



河川沿いに電気柵設置

成果

- ◆ 電気柵設置後、イノシシの出没は見られなくなり被害は全く無くなった。
- ◆ 地域ぐるみで取り組む意識が高まり、集落内で当番制で月2回電気柵の保守点検を実施している。
- ◆ 16名がわな猟免許を取得し、捕獲に取り組むようになった。

地区代表者 コメント

電気柵を設置してから、イノシシ被害が全く無くなり良かった。また、対策に皆で取り組むようになり、集落のまとまりも良くなった。



猟友会による講義



箱わな

わな設置研修会



くくりわな

事後評価

指標	A	B	C	D
被害	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落環境	改善した	やや改善した	変わらない	悪くなった
出没・目撃	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落ぐるみの認識	出来ている	概ね出来ている	一部出来ている	出来ていない
集落ぐるみの体制	出来ている			出来ていない
対策の実施	よく実施している	概ね実施している	一部実施している	実施していない
取組効果	効果あった	概ね効果あった	一部効果あった	効果無かった
継続性	継続している	概ね継続している	一部継続している	継続していない
波及性	波及した	概ね波及した	一部波及した	波及していない
取組度	大変良い	良い	やや良い	不十分
達成度	達成できた	概ね達成できた	一部達成できた	不十分
満足度	大変満足	満足	やや満足	やや不満・不満

センター評価

集落の対策意識は高く、電気柵は定期的に除草され適正に管理されている。また、農家自らわな猟免許を取得して捕獲にも取り組んでいる。

集落には若い世帯もあり、自治会活動として電気柵周りの草刈りや耕作放棄地の刈り払い、収穫残渣の適正処理など、実施されていることから集落ぐるみの被害対策の成熟度は高い。

課題

地権者の問題で解消できない耕作放棄地が2カ所ある。